

## 平成26年8月台風12号の被害状況(日下川)

くさかがわ  
日下川流域では、台風12号の影響により8月1日から断続的に雨が降り、8月3日にかけて大雨となり、岩目地雨量観測所では、8月2日から3日の雨量が690mmと観測史上最大の降雨を記録しました。

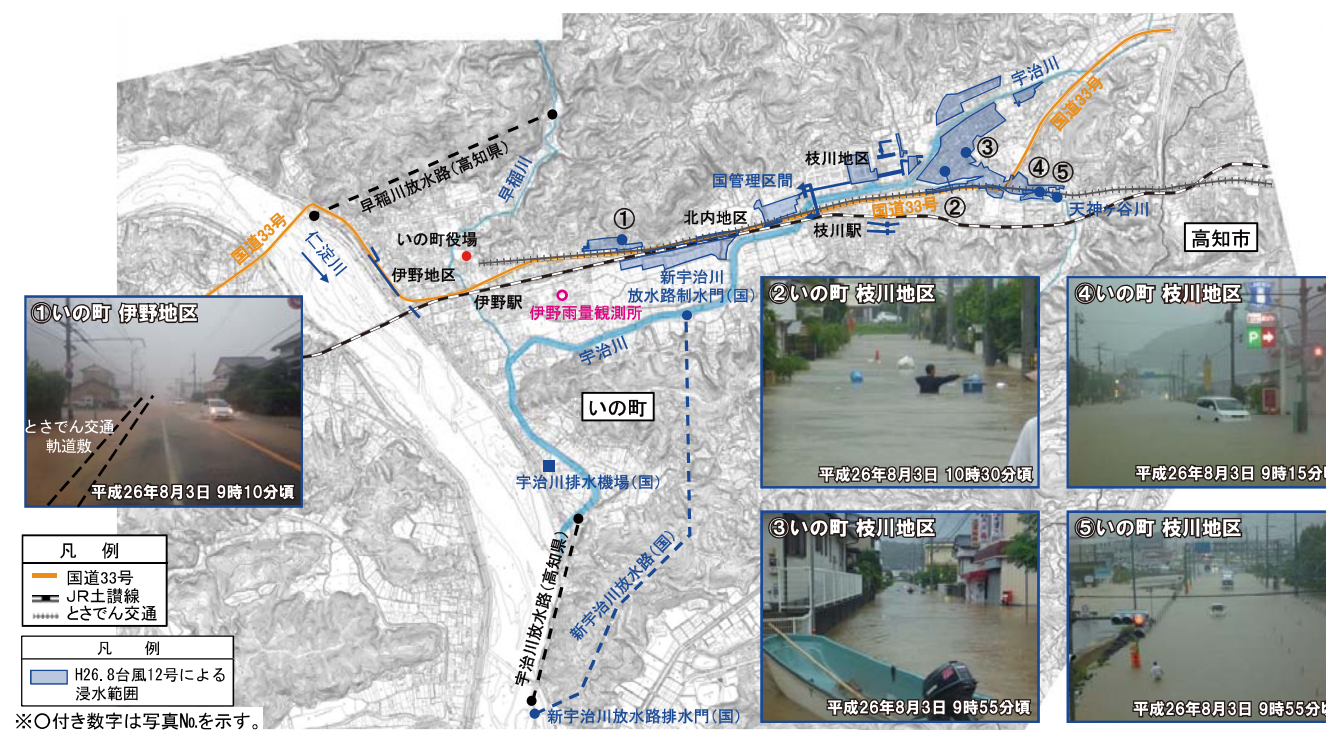
この大雨により、浸水家屋159戸(床上109戸、床下50戸)、浸水面積は274haの甚大な被害が発生しました。



## 平成26年8月台風12号の被害状況(宇治川)

うしがわ  
宇治川流域では、台風12号の影響により8月1日から断続的に雨が降り、8月3日にかけて大雨となり、伊野雨量観測所では、8月2日から3日の雨量が751mmと観測史上最大の降雨を記録しました。

この大雨により、浸水家屋256戸(床上142戸、床下114戸)、浸水面積は30haの甚大な被害が発生しました。



### 編集・発行

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所  
〒780-8023 高知県高知市六泉寺町 96-7  
TEL (088) 833-0111 (代) FAX (088) 833-5357  
http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/

高知県 土木部河川課  
〒780-8570 高知県高知市丸ノ内 1-2-20  
TEL (088) 823-9838  
http://www.pref.kochi.lg.jp/

## 「仁淀川水系河川整備計画」の変更に向けて

仁淀川水系の四国地方整備局及び高知県が管理する区間について、今後概ね30年間の河川整備等の具体的な内容を記載した『仁淀川水系河川整備計画』(以下、「河川整備計画」という)を平成25年12月20日に策定し、河川整備を推進しています。

このように、平成26年8月の台風12号及び台風11号により、仁淀川下流域を中心に大雨となり、特に日下川、宇治川では、甚大な浸水被害が発生しました。

そこで、河川整備計画の点検を行い、平成26年12月18日、平成27年1月28日の仁淀川流域学識者会議において、その内容を報告し河川整備計画の変更が必要との意見をいただいたところです。

本学識者会議の意見を踏まえ、四国地方整備局及び高知県では、日下川、宇治川の河川整備内容を追加するなど河川整備計画の変更を行うことになりました。

このたび、仁淀川水系河川整備計画【変更原案】を作成いたしましたので、河川整備計画の変更に向け、流域住民の皆様のご意見を聞きながら進めてまいりますので、できるだけ多くのご意見をいただけますよう皆様のご理解、ご協力をお願いします。

### 河川整備計画とは

仁淀川水系河川整備基本方針(平成20年3月策定)に基づき、仁淀川の総合的な管理ができるよう河川整備の目標及び実施に関する事項を定めるものです。その対象期間は、概ね30年としています。

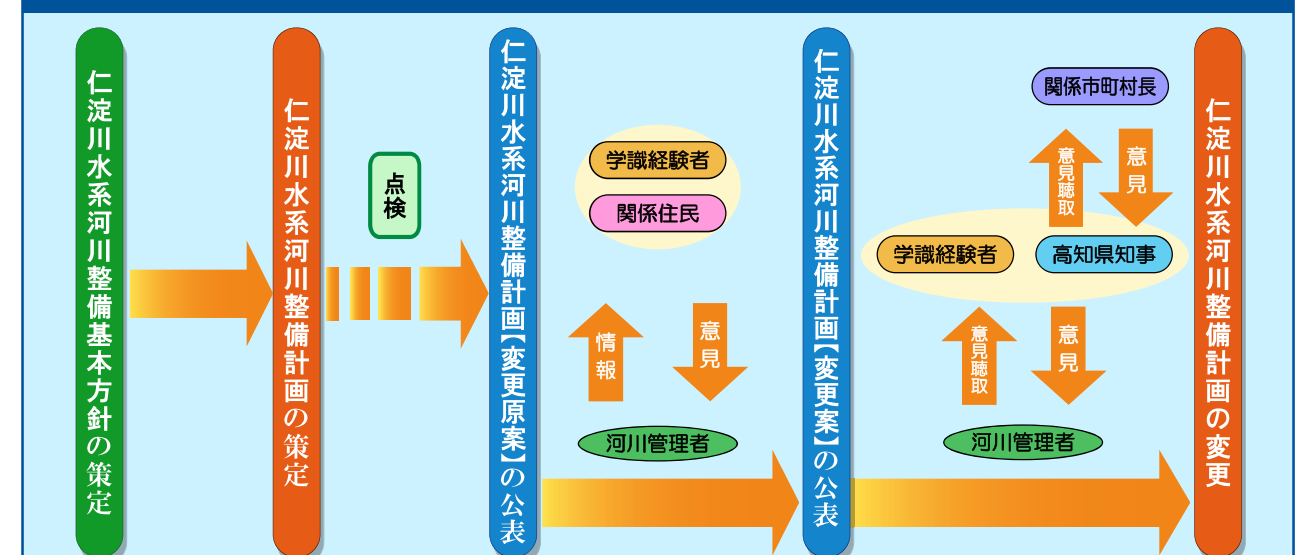


### 仁淀川水系河川整備計画の基本理念

清流・安全・親しみやすい川づくり

- 安全で安心な暮らしを守る川づくり
- 豊かな水量と高い透明度を有する清流仁淀川の保全
- 豊かな自然とふれあうことができる川づくり

## 「仁淀川水系河川整備計画」の変更までの流れ



(平成20年3月策定)(平成25年12月策定)(平成27年10月22日公表)



# ■仁淀川水系河川整備計画【変更原案】の主な内容

## 仁淀川水系河川整備計画【変更原案】のポイント

仁淀川水系河川整備計画【変更原案】は、主に以下に示す①～④の内容を追加し作成しています。

- ① 日下川、宇治川の内水対策を追加
- ② 波介川導流堤の浸透対策を追加
- ③ かわまちづくり(江尻箇所)の整備を追加
- ④ その他(整備の進捗状況の更新、新しい知見や統計データ等の時点更新 等)

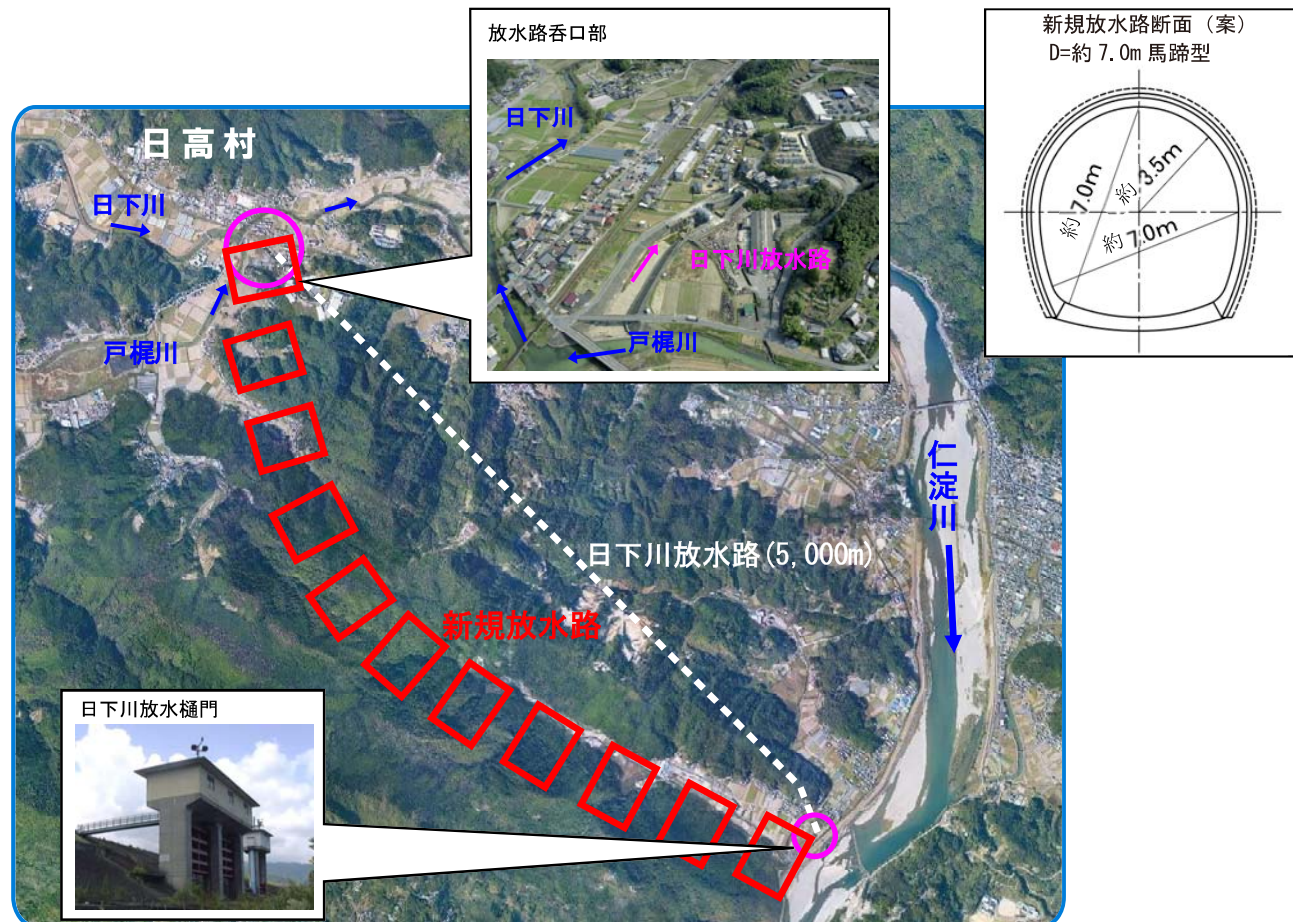
## ①日下川、宇治川の内水対策を追加

### ■日下川

日下川は、仁淀川本川から離れるほど低くなる地形となっており、仁淀川本川の影響を受けやすく、古くから頻発する内水被害に悩まされてきました。

このような中、神母樋門や日下川放水路等を建設し、浸水被害の軽減を図ってきましたが、平成26年8月台風12号洪水では、施設規模を上回る洪水となり、甚大な浸水被害が発生しました。

そこで、国、高知県、日高村で策定した「日下川総合内水対策計画」に基づき、内水の排水能力向上を目的とした新規放水路の整備を行うなどにより、平成26年8月台風12号による床上浸水被害の解消を図ります。

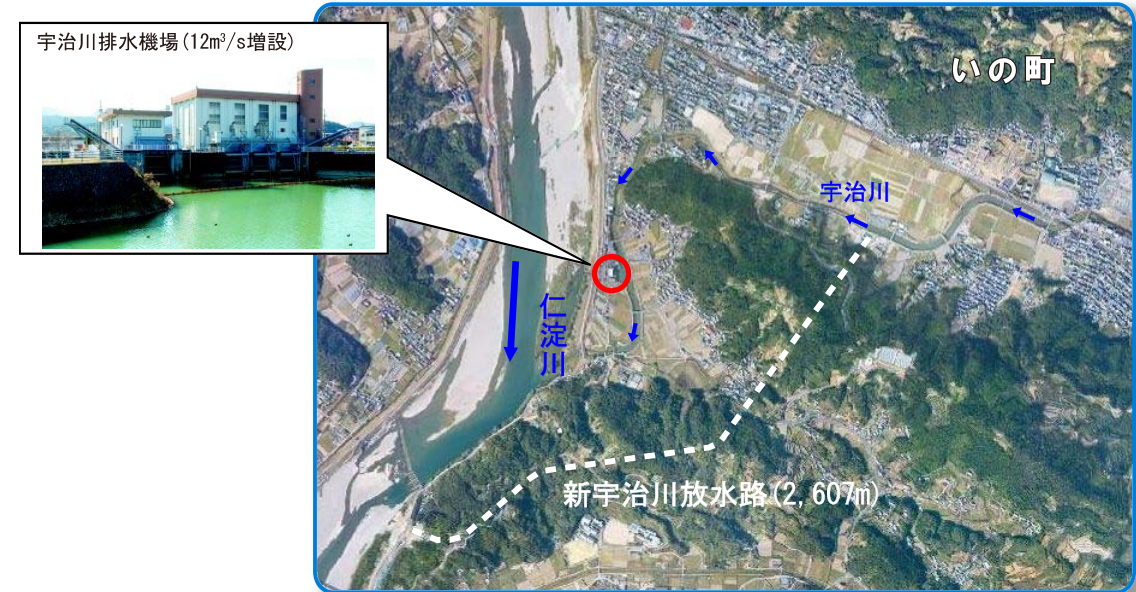


### ■宇治川

宇治川は、仁淀川本川から離れるほど低くなる地形となっており、仁淀川本川の影響を受けやすく、古くから頻発する内水被害に悩まされてきました。

このような中、宇治川排水機場の建設やポンプの増設、新宇治川放水路等を建設し、浸水被害の軽減を図ってきましたが、平成26年8月台風12号洪水では、施設規模を上回る洪水となり、甚大な浸水被害が発生しました。

そこで、国、高知県、いの町で策定した「宇治川総合内水対策計画」に基づき、既設の宇治川排水機場にポンプ12m<sup>3</sup>/sを増設するなどにより、平成26年8月台風12号による床上浸水被害の解消を図ります。



## ②波介川導流堤の浸透対策を追加

平成26年8月台風11号では、波介川導流堤(土佐市用石箇所)において堤防漏水が発生し、延長約2.0kmの堤防について対策が必要となっています。

今回、当該箇所の堤防の安全性確保に向けた浸透対策を追加します。



## ③かわまちづくり(江尻箇所)の整備を追加

仁淀川の日高村江尻箇所は、平成26年3月に「かわまちづくり」に登録し、水辺空間の創出を通じて、日高村の活性化および地域振興を図ることを目的に整備を実施しています。その為、整備項目として内容を追加します。

